

みであつた。佐賀の豊水、熊本の新高に生理障害である
みつ症の発生が認められた。病害は少発生であつたが、
ナシヒメシクイ、ハダニによる虫害が多発し、それら
の被害が目立った。

2)ブドウ
作況は福岡、佐賀、長崎がやや不作、熊本、宮崎、鹿
児島が平年並みであつた。発芽は宮崎が平年より5日程
遅かつたが、福岡、長崎、熊本が5～7日早く、佐賀、
鹿児島が平年並みであつた。開花期は長崎、熊本が3日
程度遅かつたのに対し、他県は平年並みであつた。成熟
期は福岡、熊本、鹿児島が早く、他は平年並みであつた。
果実肥大は良～平年並み、糖度は福岡、佐賀、熊本で高
く、他は平年並み、食味は福岡、佐賀が良、他県は平年
並み、外観は全県とも平年並みであつた。生理障害では
宮崎のピオネに降雨後の果実裂果、鹿児島の巨峰に着
色遅延が認められた。病害では福岡、熊本、鹿児島で
と病、鹿児島で褐斑病が多発生し、虫害では福岡の巨峰、
宮崎のピオネにチャノキイロアザミウマの発生が多か
つた。

3)その他
カキの作況では福岡の富有、熊本の太秋、宮崎の富有、
次郎が平年並みであつた。発芽は福岡、熊本で早く、宮
崎では平年並み、開花期は福岡で7日早く、宮崎で平年
並み、熊本で遅かつた。成熟期は3県とも3～7日程度
遅かつた。果実肥大は良～平年並み、糖度、味は良～平
年並み、外観もほぼ平年並みであつた。樹上軟化、へた
すき果、日焼け果などの生理障害は認められなかつた。
病害虫の発生では宮崎で炭疽病がやや多の発生であつた
以外はほぼ平年並みであつた。

モモの作況では福岡のあかつきが平年並み、熊本の日
川白鳳、川中島白桃がやや不作であつた。発芽は福岡で
平年より7日早く、熊本県で平年並み、開花期は両県と
も2～4日早かつた。成熟期は福岡が平年より7日早く、
熊本で2日程度遅かつた。果実肥大は平年並み～良、糖
度は平年並み～低、味はやや不良、外観は福岡県でやや
不良、熊本県で良であつた。生理障害であるみつ症の発
生は少なかつたが、福岡で核割れが多発した。病害では7
月以降にせん孔細菌病が多発したが、虫害は平年並みの
発生であつた。

クリの作況では熊本で平年並み、宮崎でやや不作であ
つた。開花期は平年並み、成熟期は6～7日遅かつた。
果実肥大は平年並み～不良、味は良、外観は平年並み、
病害虫の発生も平年並みであつた。

キウイフルーツの作況は福岡で不作（前年比87%）、
果実肥大、果実品質はほぼ平年並み、病害虫の発生は少
なかつた。

イチジクの作況は福岡で豊作（前年比130%）成熟期は
平年より4日程度早く、果実肥大は良、果実品質は平年
並みであつた。病害では7～9月に疫病、虫害では8月
にアザミウマが多発生した。

3. 熱帯果樹

1) パインナップル

沖縄県の作況は平年並み、発芽および開花期は3～5日程度平年より早く、成熟期、果実肥大、糖度、味、外観は平年並みであった。目立った病虫害の発生はなかった。

2) マンゴー

沖縄県の作況は平年並み、発芽、開花期、成熟期、果実肥大、糖度、味、外観等はすべて平年並みであった。病虫害の発生では特に問題となるものはなかった。

(果樹研究所カンキツ研究口之津拠点 今田準)